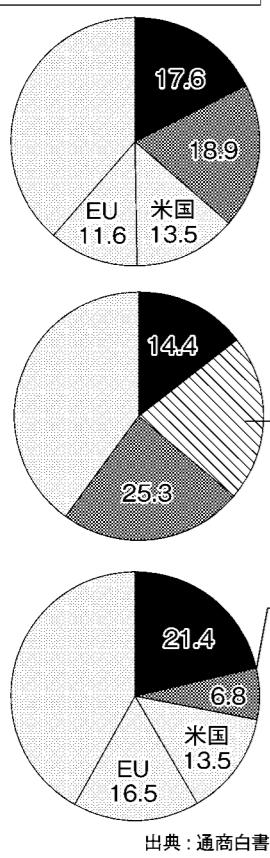


成長戦略

東日本大震災で津波の被害にあつた復興に取り組む(岩手県大船渡市)

貿易額に占める
FTA・EPA対象国比率■FTA・EPA発効済み
■FTA・EPA署名済み
■FTA・EPA交渉中焦点は米・EU
「国論」が一分に
TPP・EPA交渉

脱価格競争 “ジャパンモデル、創出

日本に足かせ 五つの課題

経済産業省 産業構造審議会 産業競争力部会中間取りまとめ		
空洞化対策		
サプライチェーンの強化	立地競争力の強化	
分散化・複数化	法人実効税率引き下げの重要性	
産業再編・事業統合	成長分野の国内立地支援	
複数サプライヤーによる災害代替供給	経済連携の推進と、食と農林漁業の再生	
仕様・部品の整理・共通化、標準化、素材仕様の柔軟化	規制制度改革など	
事業共同化計画など	アジア拠点化強化	
経営財務基盤の強化		
成長力の創出・強化		
海外市場開拓	新たなビジネスの育成	人材力・技術力の強化
インフラシステム輸出	IT融合によるシステムづくり	人材育成
クール・ジャパン戦略の強化	クール・イノベーションの加速	研究開発
新興国市場等への戦略的取り組み	起業・創業	
国際知財戦略の推進		
中小企業の海外展開の強化		

(経済産業省資料)

が揺らぎ、部品を調達していた日系や海外メーカーの国内外生産が一時滞り。これに原発事故による電力需給ひっ迫や超円高による輸出競争力低下が、成長する海外市場をいかに取り込むか。その道筋を見極める摸索が始まっている。

日本の産業は超円高や膨らむ財政赤字、東日本大震災などを背景に抜本的な構造転換を迫られている。枝野幸男経済産業相は日本産業の未来について「経済大国となった日本の国際競争力の柱が価値では話にならない」と従来型ビジネスモデルからの脱却を唱え、コスト競争力に高付加価値をえた新たな「ジャパンモデル」創出を目指す。日本の強みである中小企業のモノづくり基盤を生かしながら、成長する海外市場をいかに取り込むか。その道筋を見極める摸索が始まっている。

負のスパイラル

が悪化、モノをつくるリスクが上昇し立地競争力が急低下。慢性的な円高で從業者に未だ見られない。

日本大震災で東北地域を中心には産業空洞化対策だ。東京電力福島第一原発事故で東北地域を



は産業空洞化が加速しそうだ。この「負のスパイラル」を止めなければ日本が生き残れない。

経済産業省は6月、産業構造審議会の産業競争力部会で「大震災後の我が国の産業競争力に関する調査」を実施した。

東京電力福島第一原発事故で電力需給がひきこもる、火力代替などにより中長期で発電コストが上昇するとの懸念。

第3に震災や計画停電でサプライチェーンが一時的にまひし、製造業の「せい弱性」が顕在化。

第4に原発事故で放射線被曝が食料品や工業製品に及ぶとの風評被害が拡大し日本製品の信頼性が低下。今にこれらの課題が重なり空洞化が深刻化するとの指摘だ。

東京電力福島第一原発事故で電力需給がひきこもる、火力代替などにより中長期で発電コストが上昇するとの懸念。

第3に震災や計画停電でサプライチェーンが一時的にまひし、製造業の「せい弱性」が顕在化。

第4に原発事故で放射線被曝が食料品や工業製品に及ぶとの風評被害が拡大し日本製品の信頼性が低下。今にこれらの課題が重なり空洞化